

○水生生物モニタリング調査結果一覧（宇多川C）

<宇多川C 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
C-6	○	○	○	○	○	○

<宇多川C 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)
C-6	37.7764°	140.8877°	H29.6.14	07:53	08:11	15.5	15.7	砂	2.5Y4/3	なし	0.21	>50

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
C-6	37.7764°	140.8877°	H29.6.14	07:53	7.4	<0.5	2.5	9.8	11.0	0.10	0.9	1	1.0	0.0019	0.0093	0.00085

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成						Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)				中央粒径 (mm)
C-6	37.7764°	140.8877°	H29.6.14	08:11	7.7	298	18.0	0.9	1.0	2.750	30.6	40.8	27.1	1.2	0.3	1.4	9.5	23	160	0.29

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
C-6	宇多川本流	37.7764°	140.8877°	H29.6.17	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.0093	—	—	—	64.4	8.4	56	—	
					節足動物	昆虫	カゲロウ	フタオカゲロウ	Siphonuridae	フタオカゲロウ属	604	0.036	幼虫	—	—	—	17.0	2.0	15	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	Stenopsyche marmorata	ヒゲナガカワトビケラ	69	0.0057	幼虫	—	—	—	37	N.D. (7.6)	37	—
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	Anotogaster sieboldii	オニヤンマ	10	0.0026	幼虫（ヤゴ）	—	—	N.D.	N.D. (9.7)	N.D. (8.1)	—	
					節足動物	昆虫	トンボ	ササエトンボ	Davidius sp.	ダビドサナエ属										
					節足動物	昆虫	トンボ	ササエトンボ	Asiagomphus melaenops	ヤマサナエ	5	0.0041	幼虫	—	—	N.D.	N.D. (7.6)	N.D. (6.5)	—	
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	Protohermes grandis	ヘビトンボ										
					節足動物	軟甲	エビ	ヌカエビ	Paratya improvisa	ヌカエビ	95	0.016	未成体/成体	—	—	4.5	N.D. (2.4)	4.5	—	
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	Eriocheir japonica	モクスガニ	4	0.055	未成体	—	—	10.5	1.1	9.4	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	Anguilla japonica	ニホンウナギ	7	2.4	未成魚/成魚	モクスガニ、エビ類	内臓除去	28.2	4.2	24	0.077	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Zacco platypus	オイカワ	1	0.015	未成魚	—	—	13	N.D. (2.4)	13	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Nipponocypris temminckii	カワムツ	1	0.017	未成魚	—	—	8.1	N.D. (2.4)	8.1	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	Cobitis biwae	シマドジョウ	7	0.027	成魚	—	—	8.4	1.8	6.6	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	Plecoglossus altivelis	アユ	261	1.9	未成魚/成魚	—	—	18.1	2.1	16	0.12	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	Oncorhynchus masou	サクラマス	1	0.34	未成魚	空胃	内臓除去	1.2	N.D. (0.37)	1.2	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	Gymnogobius urotaenia	ウキゴリ	2	0.010	未成魚	—	—	13	N.D. (3.1)	13	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	Rhinogobius fluviatilis	オオヨシノボリ	23	0.070	成魚	—	—	24.6	2.6	22	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	Rhinogobius sp. CB	シマヨシノボリ										
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	Tridentiger brevispinis	ヌマチチブ	2	0.017	成魚	—	—	9.3	N.D. (2.1)	9.3	—	
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.22	—	—	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。